



★生活発表会に向けて★
 この1学期の生活の中でいろいろなことを経験してきた子どもたち。それらをお家の方に見てほしいと生活発表会をするこにほほほ。必要なものを作り、自分たちで言葉や動きを考えたりして取り組んできました。またこまや縄跳び、フープなども自分たちのためを込めて頑張りました。

感動や喜ぶなど必要なものを自分たちで作りましたー♪

かみしばい

1学期から取り組んできました。いろいろな技ができるようになりほほほとお楽しみに!!

フラフープ

歌をうたいながらセリフを言ったり、踊りを。おどたりするオペレッタ。その中でも登場人物の気持ちを自分なりに考え、動きや表情などで表現しています! お楽しみに♡

まりつき

まりつきも1学期から取り組んできました。まりは、自分の手元から遠くへ行くことはあまりありません。でも当日は、ドキドキして、まりが転ぶのが、とても心配してました。

生活発表会が近づいてきました。園生活の中で頑張ってきたこと、出来るようになったこと等を「お家の人に見せたい!」と発表会をすることになり、子どもたちも毎日練習に取り組んでいます。取り組む中で、友だちと気持ちを合わせること、自分なりに役になり切り表現すること、言葉による表現、役がどんな気持ちなのか考えながら表情や言葉、態度などで表現すること等を楽しんでいます。また、友だちと力を合わせて作り上げる大変さも味わっています。当日は、温かく見守って頂きたい皆さんの拍手や手拍子を送ってください。今回の「ほかほか」では発表会のお話のあらすじや、子どもたちが挑戦する内容などをお知らせします。

プログラム 4番 ペープサート『もりのみんなとまじよのまほう』

ある日、森でユニコーンとトカゲとライオンが遊んでいました。すると突然魔女が現れ、魔法でシカとおばけとネズミに変えてしまいました。そこへ、遊びに来た龍がやってきてみんなの困りを聞き、自分のしっぽから出る水をかけますが、魔法は解けません。龍は以前聞いた「甘いものを食べたら魔法が解ける」という話を思い出し、みんなを自分(龍)の背中に乗せ、クマのわたあめ屋さんとキツネのジュース屋さんに行き甘いものを食べたり飲んだりしましたが、元に戻りません…するとそこへ、魔女が再び現れました。魔女がみんなに魔法をかけた理由は?動物たちは元に戻れるのでしょうか?*このお話は子どもたちが考えたお話です。少しわかりにくい部分もあるかもしれませんが、お話の内容、子どもたちが考えた考えや言葉を見守ってあげてください。

プログラム 6番 紙芝居『にこにこきらきらのおもいで』

大きな紙に幼稚園で楽しかったこと、面白かったこと、頑張ったことなどを絵に描きました。その絵を見ながら、子どもたちなりの言葉や会話で思い出をお話します。ご覧ください。

プログラム 10番 劇『おおきなかぶ』

ある日、おじいさんが畑に『おおきなおおきなかぶになれ～、あまいあまいかぶになれ～』とかぶの種をまきました。しばらくしておじいさんが、かぶの様子を見に来ると…登場人物になりきって表現する子どもたちの姿をご覧ください。

プログラム 12番 オペレッタ『ともだちほしいな おおかみくん』

げんき森に住んでいるおおかみ君は、本当はとても優しいおおかみ。でも、森に住んでいる動物たちは、おおかみ君は“怖い”と思っています。“友だちになってほしいなあ”と思ったおおかみ君は「広場で遊ぶものよっといで この指とまれ」とみんなを呼びました。すると本当に出てきた動物たち。動物たちにバテはいけないと、おおかみは隠れてしまいました。さて、動物たちとおおかみは友だちになれるのでしょうか?動物たちは、おおかみの優しさに気付くことができるのでしょうか?子どもたちの、素敵な歌声、そしてそれぞれの動物の気持ち、表情を子どもたちに表現します。踊りや歌、セリフと共に、子どもたちの表情にもご注目ください。

プログラム 2番『まりつき』3・7番『こままわし』5・9番『なわとび』 11番『フラフープ』

子どもたちがこれまでに頑張ってきた事をお見せします。様々な技が登場しますので、たくさんの笑顔と拍手を送ってください。

*その他に、歌も歌い、自分たちで準備や片付けをします。当日はたくさんのお客さんの前で緊張することと思います。縄跳びで引っかけたり、コマがうまく回らなかったり、セリフを忘れてしまったり…さまざまな姿があると思いますが、温かい拍手や声援が子どもたちを後押ししてくれると思います。どうぞ温かく見守ってください。また当日は、楽しく元気に発表会に参加できますよう、体調には十分に気を付けてあげてください。当日お待ちしております♪

